

8 月度 例会 個人 山行報告書		報告者	津田 廣一	参加 メンバー	CL;津田 廣一 SL;油井 武 中井 裕美 大須賀 弥生 津田 利栄子
山 域	北アルプス	報告日	09/11		
山 名	槍ヶ岳	山行日	13 年 08 月 02 日(金) ~04 日(日)		

山行目的	夏山を楽しむ・縦走	コースタイム(天候:天気図記号)
------	-----------	------------------

配布先
集会:12
山行:1
リーダー
原紙:集会担当者



2.5 万分の 1 地図: 笠ヶ岳・槍ヶ岳

8/2 曇り時々小雨 04:45 起床 05:30 新穂高P発 07:00 笠新道分岐 1 本(10分) 07:20 わさび平 1 本(5分) 08:30 1 本(5分) 09:45 1 本(10分) 11:00 鏡平 1 本(15分) 12:30 弓折分岐 1 本(30分) 14:20 双六小屋(テン場)	8/3 晴れ 03:00 起床 05:00 双六小屋発 06:30 硫黄乗越一本(10分) 07:40 一本(10分) 09:00 千丈乗越一本(10分) 10:40 槍ヶ岳山荘(テン場) 11:20 槍ヶ岳山荘発 12:05 槍ヶ岳山頂(25分) 13:10 テン場着	8/4 曇り後雨 後晴れ 03:15 起床 05:15 槍ヶ岳山荘発 07:00 千丈分岐点 1 本(10分) 08:00 槍平小屋 1 本(10分) 09:00 避難小屋 1 本(15分) 10:30 白出沢出会 1 本(10分) 11:55 新穂高P着 12:30~14:00 昼(昼食) 18:00 豊橋(自宅)着
---	--	---



夕陽に染まる槍

ブロックン 現る

山行報告 前日、少しでも早く到着と16時に出発。新穂高に到着する頃、予想外に雨が降り出した。9時半に駐車場に到着、空きスペースを探す。車の隣に予備テントを設営、前祝いをやっている、「テントは撤収してくれ」との注意を受けてしまった。車の駐車スペースを避け、2輪の止まっている奥にテントを移動、男2人はテント泊。女3人は、車中泊。

1日目:妻が起しに来る。寝坊して 1h遅れの出発。歩き出すや、雨が降り出す。結構、強い雨だ!「カッパを着よう」やがて、小雨になると今度は暑い。笠新道分岐で1本、カッパを脱ぎ、水を補給。10分程、歩いてワサビ平でトイレ休憩。以後、1ピッチ 1hは歩く事にし、遅れの挽回を図る。小池新道に入り、徐々に傾斜が急になる。トップの油井さんがゆっくり目のいいペースでリードしてくれる。1h程歩き、水場辺りで1本。チボ岩も過ぎ、急傾斜の道をゆっくりと確実に高度を上げる。さすがに、話声が減った所で1本(シンウドケ原付近)。行動食を腹に入れ、元気を取り戻す。ようやく鏡平小屋到着。更に急登を登り、弓折分岐へ。油井さんと妻を残し、3人で弓折岳をピストン。花見平の高山植物を見ながら、双六平へ。テント設営後、油井さんと2人で三俣蓮華からの合流点まで双六を登る。1日目の頑張りをねぎらい乾杯!

2日目:予定通り5時出発。天気は快晴。縦沢岳まで登りきると、目指す槍が顔を見せる。西鎌尾根を快調なペースで飛ばす。槍がどんどん大きくなっていくので、自然と気分もハイになる。千丈乗越からも1ピッチで槍ヶ岳山荘(テン場)へ到着。早速、テントを設営し、サブザックで槍の山頂を目指す。すぐにアタック渋滞の最後尾に並び、休憩しつつ、行動食を

食べる。トレランの若者が、並んでる人も無視し、横から無理矢理登り、非難を浴びる。ルール無視のトレラン者は困ったものだ。ハシゴを登り、12時5分に山頂へ。写真を撮り景色を堪能したら、山頂を後にする。皆で、祝杯を上げ、山の歌など歌い、充実の1日を過ごした。夕方には、ブロックンのおまけ。

3日目:白くガスった中、さっさと降りる。滝谷出会手前から雨が強くなり、避難小屋でカッパを着る。白出沢でカッパを脱いで、新穂高Pに昼前には下山。

リーダー所見 天候はいいだろうと予想しての山行であったが、中日こそ天候に恵まれたが、1日目と3日目は雨にも降られた。どんな天候になっても対処できる様、考えて準備と行動する必要性を再認識した。そんな中、メンバー全員が楽しめた山行であったのは良かったと思う。最年長の油井さんには、終始、ベストリードを続けて頂き、感謝したい。3人の部外者女性も含む異色メンバーによる充実した山行であった。



懐かしの 歌の数々 うたいつぎ
ビール片手に 疲れを忘れ
(テン場にて 油井さん作)

確認 (リーダー)
津田
13.9.08
作成 (報告者)
津田
13.9.08